



# 陽光

令和6年4月16日 第1号 文責 梶原圭一



## 「夢を持って歩み続ける」学校を目指して

4月1日より菊陽中部小学校校長として着任しました 梶原圭一（かじわら けいいち）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。阿蘇、宇城、熊本市、山鹿、大津、天草と県内各地で学校教育に携わってきましたが、昨年1年間、武蔵ヶ丘小学校の校長として菊陽町の学校に勤務させていただいていました。菊陽中部小のような大規模校に勤務するのは初めてですが、子供たちや先生方、保護者や地域の方々との新たな出会いを大切に、地域とともにある信頼される学校づくりに力を尽くしていきたいと思っております。

本校に勤務して最初に感動したのは、校訓の素晴らしさでした。多くの学校が、知・徳・体の調和のとれた児童を育成することを目指し、「やさしく」や「かしこく」といった校訓が定められています。本校は創立151年目を迎える歴史と伝統ある学校ですが、「夢を持って歩み続ける」という子供たちの未来を見据えた校訓は大変新鮮であり、この校訓を定められた当時の先輩方や地域の方々の願いや思いが伝わってくるようです。この校訓に込められた思いを大切にしながら、これからの学校経営を進めていきたいと思っております。

昨年度、本校は創立150年という節目の年でした。年度初めに当たり、先生方と子供たちに対して、次の10年、20年、そして創立200年に向けて新たな一歩を踏み出す年であることを話しました。未来の予測が困難な時代となっていきと言われてはいますが、どのように世の中が変化しようとも、自らの夢実現に向けて力強く歩んでいける子どもたちを保護者や地域の方々とともに育てていきたいと考えています。そのためには、子供たち一人ひとりが自分で考え、判断し、行動できる力を身につけていく必要があります。また、友達と様々な意見を交換し合い、学び合う活動を通して、自分にはない友達の考え方から学ぶ素晴らしさを感じる学校を目指していきます。

子供たちは「この学校で学んでよかった」、保護者の方々は「この学校に通わせてよかった」、先生方は「この学校に勤務できてよかった」、地域の方々は「地域にこの学校があってよかった」と思ってもらえるような学校づくりを目指し、78人の職員が一丸となって全力を尽くします。

## 126人の1年生を迎えて

本年度の菊陽中部小学校は、春風が心地よい4月9日（火）の入学式に、126人の新1年生を迎え、全校児童798人、教職員78人でスタートを切りました。126人の新1年生も、この入学式を心待ちにしていただこうと、本校職員も楽しみにしていました。子どもたちが楽しく、そして学びの多い学校生活を送れるよう、家庭との連携を密に取りながら、日々の教育活動を工夫し、進めていきたいと考えております。本校の教育活動に対し、ご理解並びにご協力の程、よろしくお願いいたします。

新1年生には、「いつでも、どこでも、誰にでも、元気にあいさつをしましょう」「みんなの心が温かくなるような言葉をつかって、お友達をたくさん作りましょう」「自分の命、そしてお友達の命をみんなで守ることができるようになりますように」という3つのお願いをしました。この3つのことをしっかりと守り、毎日元気に登校してくれることを願っています。新1年生の子どもたちが、これからどんな成長を見せてくれるか、今から楽しみです。しっかりと認め、ほめ、励まし、伸ばしていきたいと思っております。

